



GOOD DESIGN AWARD 2025

BEST 100



GOOD DESIGN AWARD 2025

GOLD AWARD



GOOD DESIGN AWARD 2024



GOOD DESIGN AWARD 2023



red dot winner 2026
innovative design



世界初！ 透水貯留浸透 コンクリート

～水害のない未来へ～

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT GOALS

DotconはSDGsの取り組みに配慮した商品です。



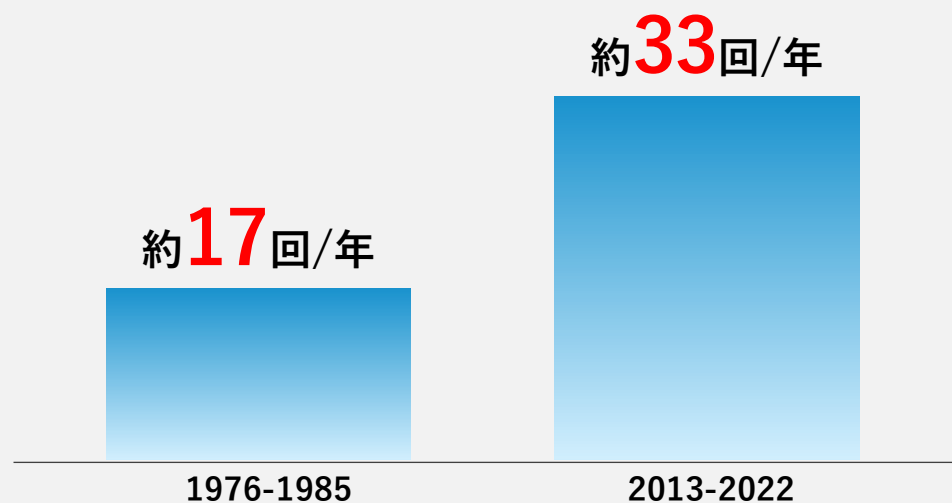
PUMP MAN®



www.dotcon.com

内水氾濫の増加

近年の都市型水害リスクは
過去 **40** 年で約**2**倍に増加



出典：国土交通省「気候変動を踏まえた治水計画に係る技術検討会」資料（気象庁データ引用）



ヒートアイランド現象

東京都中心部の平均気温は

過去**100**年で

約**3**°C上昇



原因

アスファルト・コンクリートで
都市の地面を覆ってしまった事



都市を変える新しい選択肢 - いま世界で「舗装を剥がす」動きが加速中 - PUMP MAN®

■ デペイビング-Depaving-

☑ デペイビングとは？

欧米を中心に、注目されている**アスファルトやコンクリートを撤去し、土や緑へ戻す取り組み**。

「Depaving」は、de（- 除去）+ pave（舗装）からなる言葉で、**舗装を取り除き、雨水が地中に浸透できる地表へと戻すこと**を意味します。

これは都市型洪水・地下水枯渇・ヒートアイランド・生きものの多様性の喪失といった問題への対策です。

☑ 背景

- ・ 雨水が浸透せず、都市型洪水が頻発
- ・ 地下水位の低下と水資源の不安定化
- ・ 舗装が熱を溜め、気温上昇を招く
- ・ 緑地減少による景観・生態系への影響

☑ 具体例

- ・ 歩道の一部を取り除いて花壇や樹木帯にする
- ・ 使われていない駐車場を土の公園やコミュニティガーデンに変える
- ・ 透水性舗装に置き換える

☑ 効果

- ・ 洪水のリスク軽減
- ・ 地下水の回復
- ・ ヒートアイランドの緩和
- ・ 景観と地域価値の向上
- ・ 生態系の復元

導入事例 アメリカ・ポートランド、フランス・リヨン、ベルギー・アントワープなど

■ スポンジシティ-Sponge city-

☑ スポンジシティとは？

都市を“スポンジ”のように設計し、雨水を吸収・貯留・再利用する都市開発モデル。

洪水対策・水資源の保全・都市の冷却・生態系の回復などを目的に、世界中の都市で導入が進んでいます。

☑ 背景

- ・ 洪水の頻発
- ・ 地下水の枯渇
- ・ 水資源の浪費
- ・ 都市の温暖化

☑ 具体例

- ・ 透水性舗装
- ・ 雨庭
- ・ グリーンルーフ
- ・ 地下雨水タンク
- ・ 公園や緑地の保水設計

☑ 効果

- ・ 洪水防止
- ・ 水の再利用
- ・ ヒートアイランド対策
- ・ 生物多様性の促進
- ・ 景観・生活快適性の向上

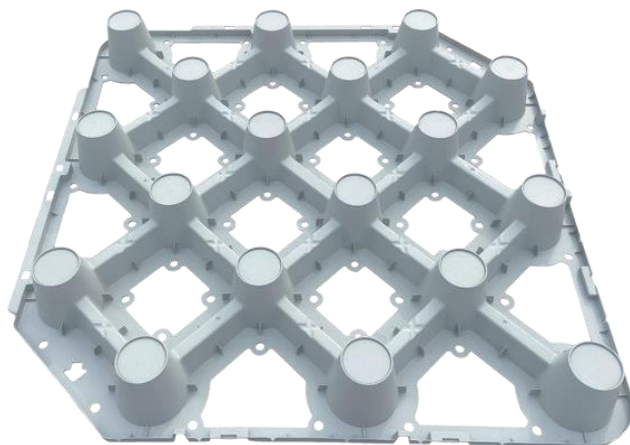
導入事例 中国（国家プロジェクト）、オランダ、デンマーク、ドイツなど



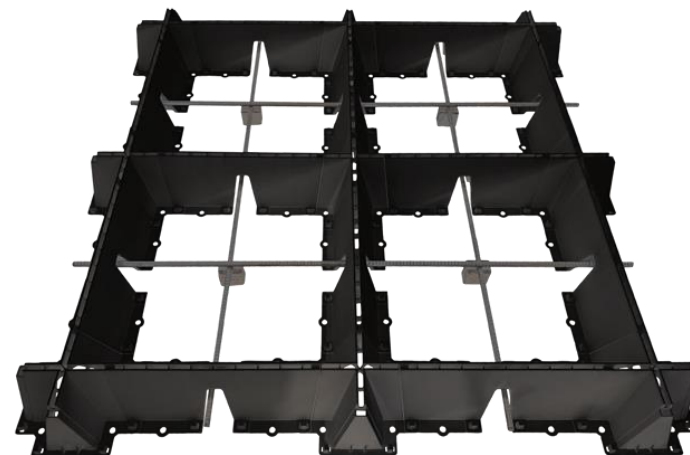
こうした動きは、今や一部の都市だけではなく“気候変動に適応するための標準”へと広がりつつあります。



穴の空いたコンクリート

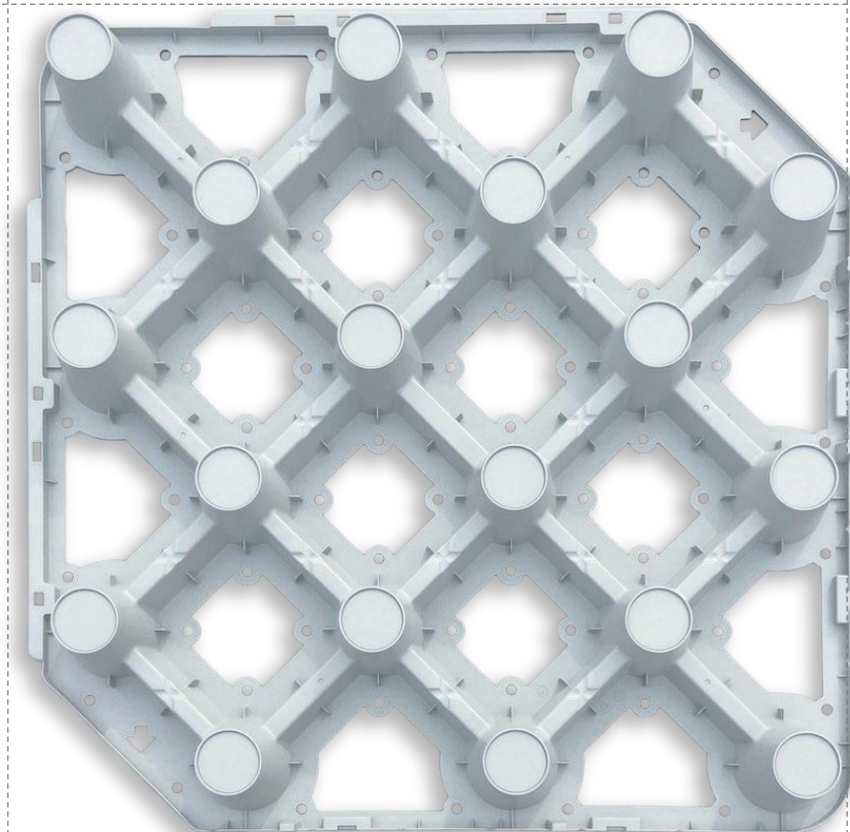


隙間の空いたコンクリート



Dotcon - 穴の空いたコンクリート -

PUMP MAN



900
mm

900mm



90mm

- 製品材料：再生 PP
- 寸法：900mm 0.81 m²
- 高さ：9900mm × 97mm
- 板厚：2.5mm
- 重量：2.76kg
- 穴数：18 個
- 穴の大きさ：65mm
- 50枚積載時高さ：1.1m 重量：129kg

Dotcon の特徴

PUMP MAN®

とおす - 透水 -

透水率 **100%**

透水係数：**0.9**

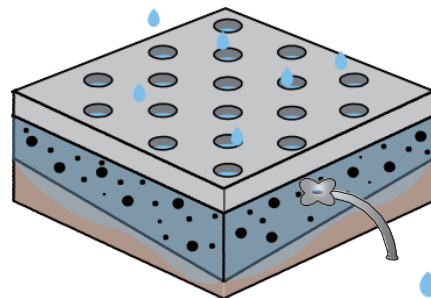
公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会による試験結果
等間隔に空いた穴より雨水が通り
そのまま地面に浸透します



ためる - 貯留 -

1 パネル **14ℓ** 貯水可能

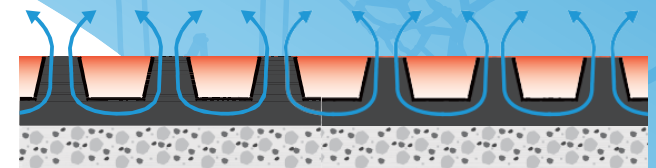
パネル内部の空隙により、1枚あたり最大 14ℓ の雨水を一時的に貯留できます。仮に路床が透水しない場合でも、14ℓ までは地表に水があふれることはありません



ふせぐ

従来の舗装材に比べ温度が低い
一般財団法人ベターリビングによる試験結果

平均 **1.2度**
夜間平均 **2.4度**



※通常コンクリートとの表面温度比較

たいら - 水平施工可能 -

透水性を確保できるため「水勾配」が
不要で水平施工が可能

平ら



斜め



どちらが良いですか？

へらす - コストダウン -

助成金の使用が可能。水勾配不要。浸透ます不要。
コンクリート量 18% 削減

不要



公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会による透水・浸透性能評価試験

透水率100%

透水係数：0.9

	歩道部		車乗り入れ部	
散水量 (m ³ /hr)	0.362	0.753	0.313	0.770
散水強度 (mm/hr)	109.6	228.1	94.9	233.2
浸透量 (m ³ /hr)	> 0.362	0.736 (漏水)	0.302	0.668 (漏水)
浸透強度 (mm/hr)	> 109.6	223.2 (漏水)	91.4	208.5 (漏水)

■ 散水試験 (ドット孔に砂利を充填した状態)



写真2-13に示すとおり、ドット孔に小粒砂利(6号砕石)を充填し、その浸透性を確認するため散水試験を実施した。

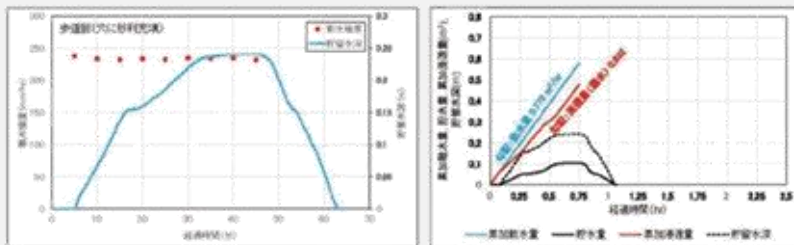


図2-22 小粒砂利充填時の散水試験結果 (歩道部)



写真2-14 目詰まり物質とその荷重状況 (歩道部ケース1)

20年分の目詰まり物質を充填した結果

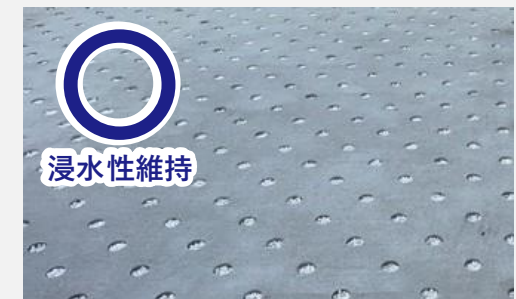
■ 透水性アスファルト



施工当初 360mm/hr

2~3年後 3.6mm/hr

■ Dotcon



施工当初 97.7mm/hr

20年後 81.8mm/hr

参考：雨水浸透施設技術指針【案】調査計画編

一般財団法人ベターリビングによる試験成績書



コンクリート試験体



Dotcon C. 試験体



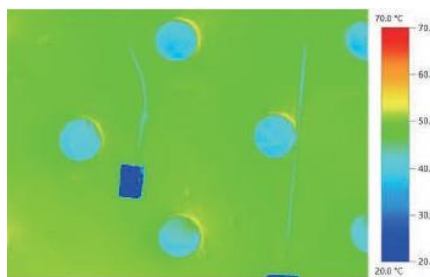
アスファルト試験体



Dotcon As. 試験体



コンクリート中央付近



Dotcon C. 中央付近

表 4-13 測定点間の温度差(単位: °C)

項目	比較対象	期間合計	1測定毎 平均値	最大値	
				数値	観測日時
コンクリート - Dotcon C.	表面間	5102.1	<u>1.2</u>	3.1	2023/9/30 14:30
	下部間	7254.5	1.7	4.0	2023/9/8 8:40
アスファルト - Dotcon As.	表面間	4383.2	1.0	3.7	2023/9/6 8:10
	下部間	12550.0	2.9	5.4	2023/9/15 18:50

9/1 ~ 9/30 の範囲では、夜間(18時~翌6時)の最大温度差は以下の通りです。

☑ コンクリート - Dotcon C. 間(表面)・・・2.4°C(9/1 21:30)

☑ コンクリート - Dotcon C. 間(下部)・・・2.9°C(9/22 22:30)

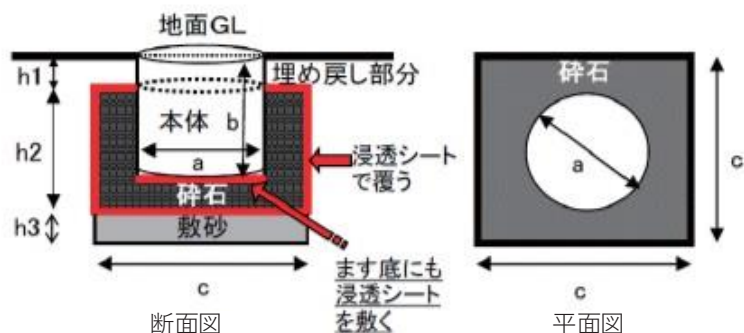
☑ アスファルト - Dotcon As. 間(表面)・・・3.4°C(9/1 21:50)

☑ アスファルト - Dotcon As. 間(下部)・・・5.4°C(9/15 18:50 成績書記載と同一)

Dotcon はコンクリートと比較して
表面温度が平均 **1.2 度** 低く
特に夜間では夜間平均 **2.4 度** 低い

浸透ますの単位貯留・浸透量と同じ浸透量のときの Dotcon 工法の貯留・浸透量を比較したもの。
道路浸透ますとして採用される浸透ます PVII（内寸 $\phi 500 \times H800$ ）を除いて

浸透ますの標準構造図（東京都）



浸透ますの貯留浸透性能（東京都）

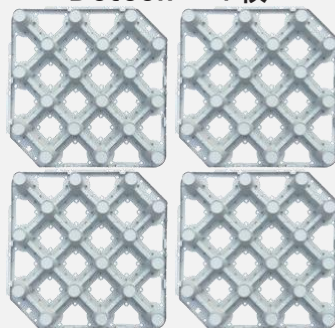
型番	ます径a (mm)	ます深さb (mm)	h1 (mm)	h2 (mm)	h3 (mm)	施設幅c (mm)	設計水頭 h2+h3 (m)	比浸透量 (m^3)	単位浸透量 ($\text{m}^3/\text{hr}/\text{個}$)	空隙貯留量 ($\text{m}^3/\text{個}$)	単位貯留・浸透量 ($\text{m}^3/\text{個}$)
P I	150	400	100	390	25	300	0.415	2.066	0.234	0.016	0.250
P II	200	400	100	390	25	400	0.415	2.679	0.304	0.028	0.332
P III	250	500	100	510	30	500	0.540	4.010	0.455	0.057	0.512
P IV	300	500	100	510	30	600	0.540	4.722	0.535	0.083	0.618
P V	350	600	100	630	35	700	0.665	6.384	0.724	0.139	0.863
P VI	400	600	100	630	35	800	0.665	7.196	0.816	0.182	0.998
P VII	500	800	100	880	50	1,000	0.930	11.582	1.313	0.397	1.710

両者の貯留浸透性能は**同等**である
換算面積 3.654 m^2

浸透ます PIV
径 300mm 深さ
500mm



Dotcon $\times 4$ 枚



（雨水貯留浸透技術協会調べ）

雨水浸透施設助成金制度の使用が可能に

各自治体が実施する雨水浸透施設助成金制度では、
浸透ますや浸透トレンチが補助対象とされている。



浸透ます



浸透トレンチ

Dotcon は、浸透ますと同等の貯留・浸透性能を有しており、
雨水浸透施設として各自治体の助成金制度の対象となる可能性がある。
これにより、通常のコンクリート舗装と比べて施工費を抑えることが可能となる。

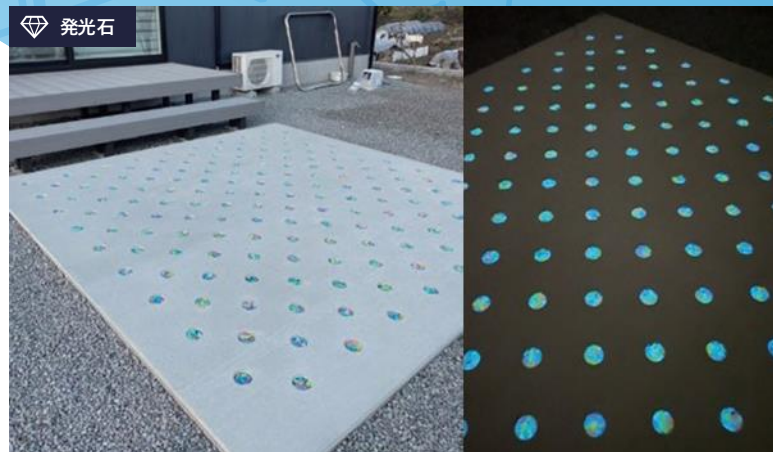
「助成金が使える駐車場舗装」その先駆けが Dotcon

Dotcon 施工事例

PUMP MAN®



施工：熊本県 ヤマエ BUILD 株式会社様



施工：静岡県 陽気庭園様



施工：京都府 株式会社忠英建設様



施工：広島県 株式会社イースター様



施工：長崎県 株式会社維風工業様



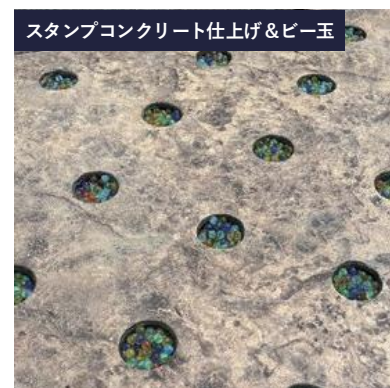
施工：島根県 横田興業様



施工：熊本県 株式会社オオマス様



施工：埼玉県 芦谷工業様



施工：広島県 株式会社イーガーデン近藤様

植物との親和性が高い

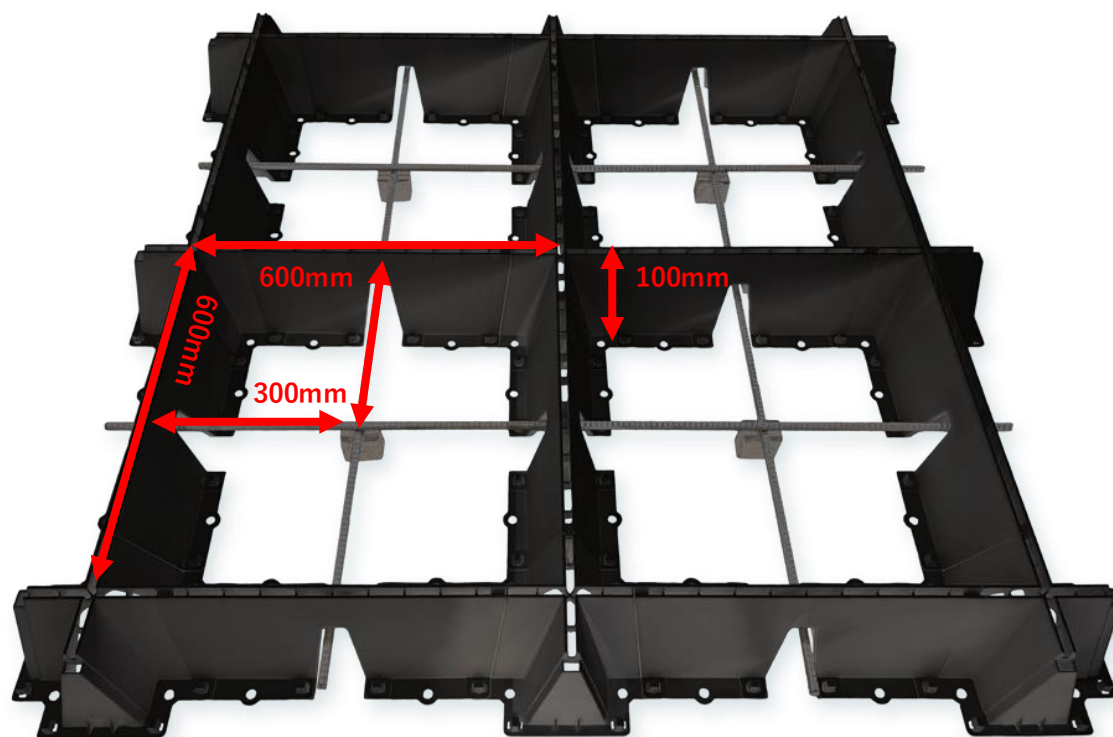
レインガーデン

グリーンインフラ

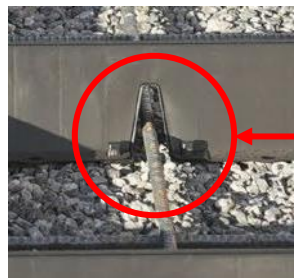


Dotcon + - 隙間の空いたコンクリート -

PUMP MAN®

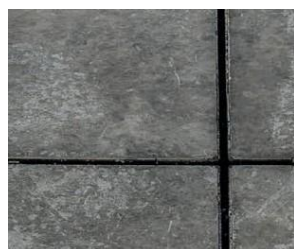


■ 鉄筋用のトンネル



雨水との直接接触を防ぎ、鉄筋の腐食リスクを低減する。直径 1~22mm の鉄筋に対応している。

■ 目地幅 1 cm



歩行性と透水性を両立した寸法設計。ヒールや子どもの靴でも引っかかりにくく、公共空間でも安心して使用できる。

■ 目詰まりを防ぐ



施工後、目地部分にフィルターを設置することで目詰まりを事前に防止。表面から状態を確認・清掃できる。

Dotcon+ の特徴

PUMP MAN

Dotcon が確立した「透水・貯留・浸透」の仕組みをそのままに Dotcon+ では
“より使いやすく・美しく・強い”コンクリートを実現しました

コストダウン

水勾配不要！浸透ます不要！型枠不要！鉄筋不要！
コンクリート使用量削減！

Dotcon+ は、通常のコンクリートよりも安価に施工できるだけでなく、
タイル施工と比較してもコストを抑えつつ、簡単に施工できる点が特長です。

貯水可能

Dotcon+ は優れた透水・貯留性能を持ち、雨水を効率的に地中へ浸透させることが
可能。1㎡あたりの貯水量は以下の通りです。

正方形タイプ：約 13ℓ / 長方形タイプ：約 11ℓ / 六角形タイプ：約 10ℓ

例えばサッカー場（7,140㎡）では約 92,820ℓ の貯水が可能で、都市型水害の抑制
や雨水の再利用にも寄与します。

水勾配不要

水捌けを確保するための水勾配が不要で、水平施工が可能。

鉄筋不要

Dotcon+ は厚さ 10cm のしっかりとした構造で、コンクリートブロックが並んでい
るイメージとして捉えると、その強度が理解できます。
特に一般住宅の駐車場で使用される小型や中型車の乗り入れであれば、鉄筋を使用
しなくても十分な強度を確保できます。

型枠工事不要

Dotcon+ 自体が型枠の役割を果たすため、従来の型枠工事が不要です。

メンテナンス可能

エアレーションやバキュームに器具をつけぼくすことで、メンテナンスが可能です。
これにより、長期にわたって高い透水性能を維持できます。

歩きやすい

タイル調の構造で、目地幅はわずか 1cm のため、つまづく心配がありません。
透水機能を備えたタイル施工として、安全で快適に歩行できます。

工期の短縮

水勾配を取る必要がなく
目地を入れる手間もかからないため、工期を大幅に短縮できます。

楽々施工・DIY 可能

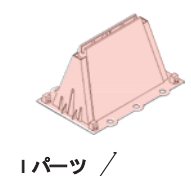
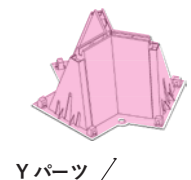
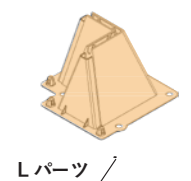
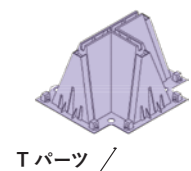
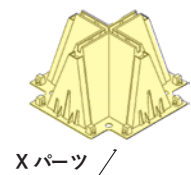
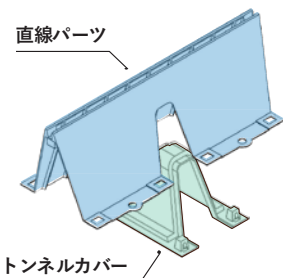
Dotcon+ は施工が簡単で
コンクリート土間として初めて DIY が可能な透水コンクリートです。

「駐車場 DIY の常識を変える」～Dotcon+ で実現する、誰でもできる DIY

比較項目	一般的な駐車場	Dotcon+
必要な機材	什器・専門工具	基本不要
材料の制限	生コンは時間制限あり	いつでも施工 OK
難易度	高い（購買・配筋など）	低い（パネルを置くだけ！）
施工時間	長い	短時間で完了
コスト	高い	低い
メンテナンス	不可	可能・簡単

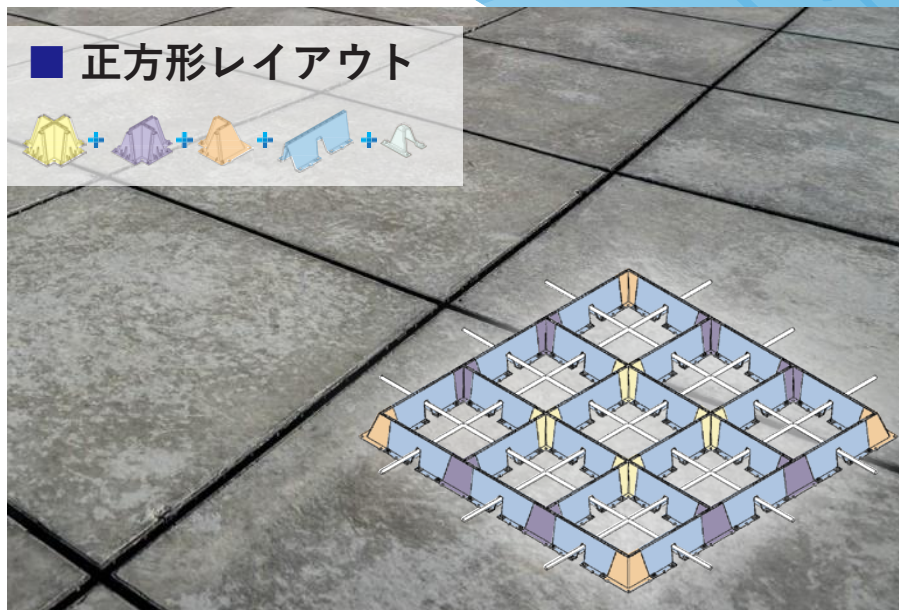
Dotcon+ のデザイン性 - 7つのパーツで無限のレイアウト -

PUMP MAN®

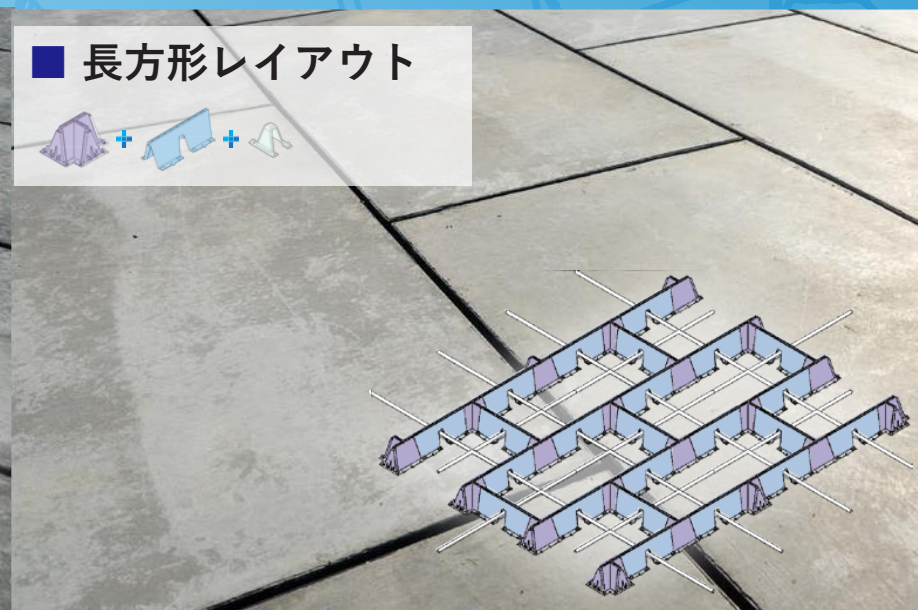


遊び感覚で自由に組み合わせて、誰でもかんたん施工。かたちは自由自在。正方形も、長方形も、六角形も。

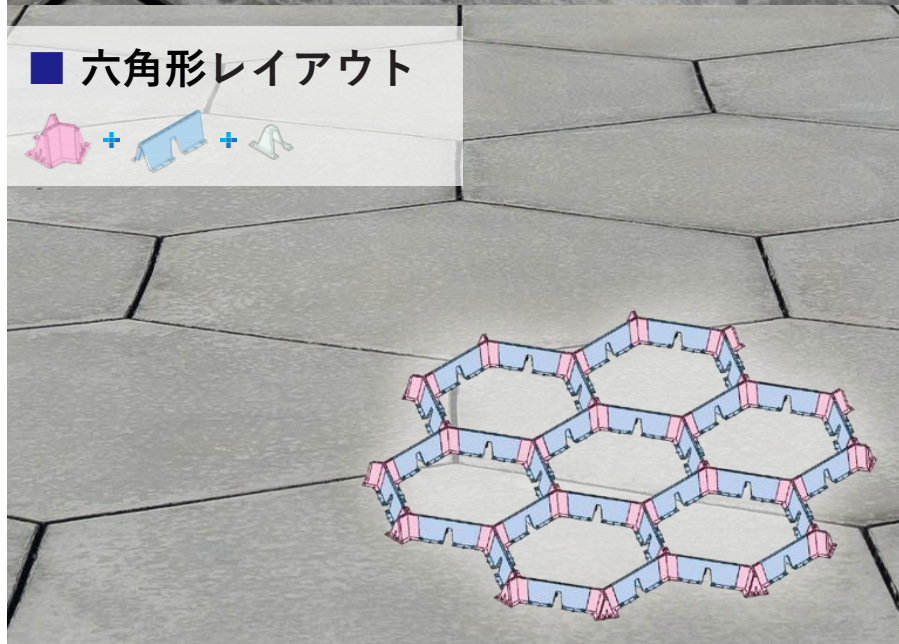
■ 正方形レイアウト



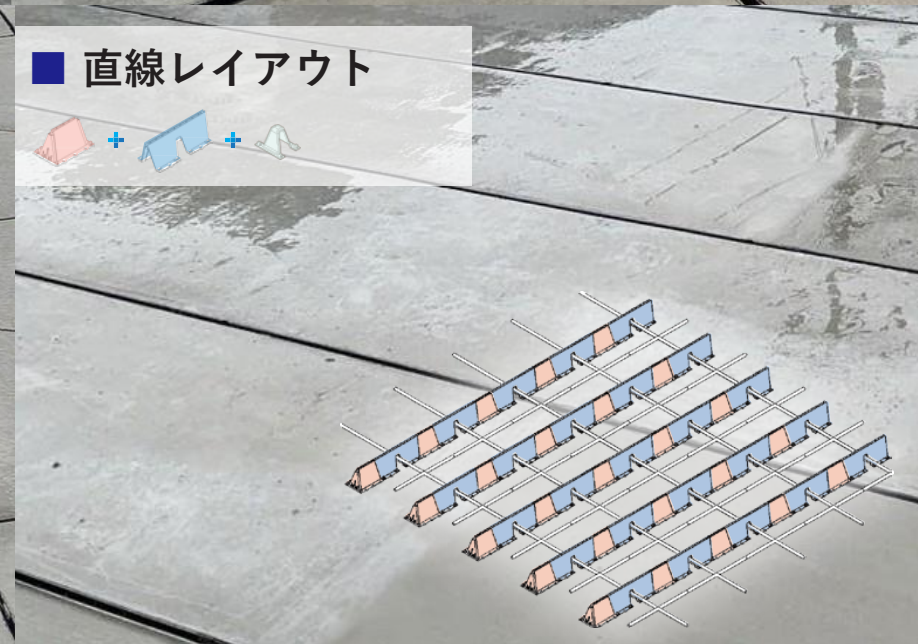
■ 長方形レイアウト



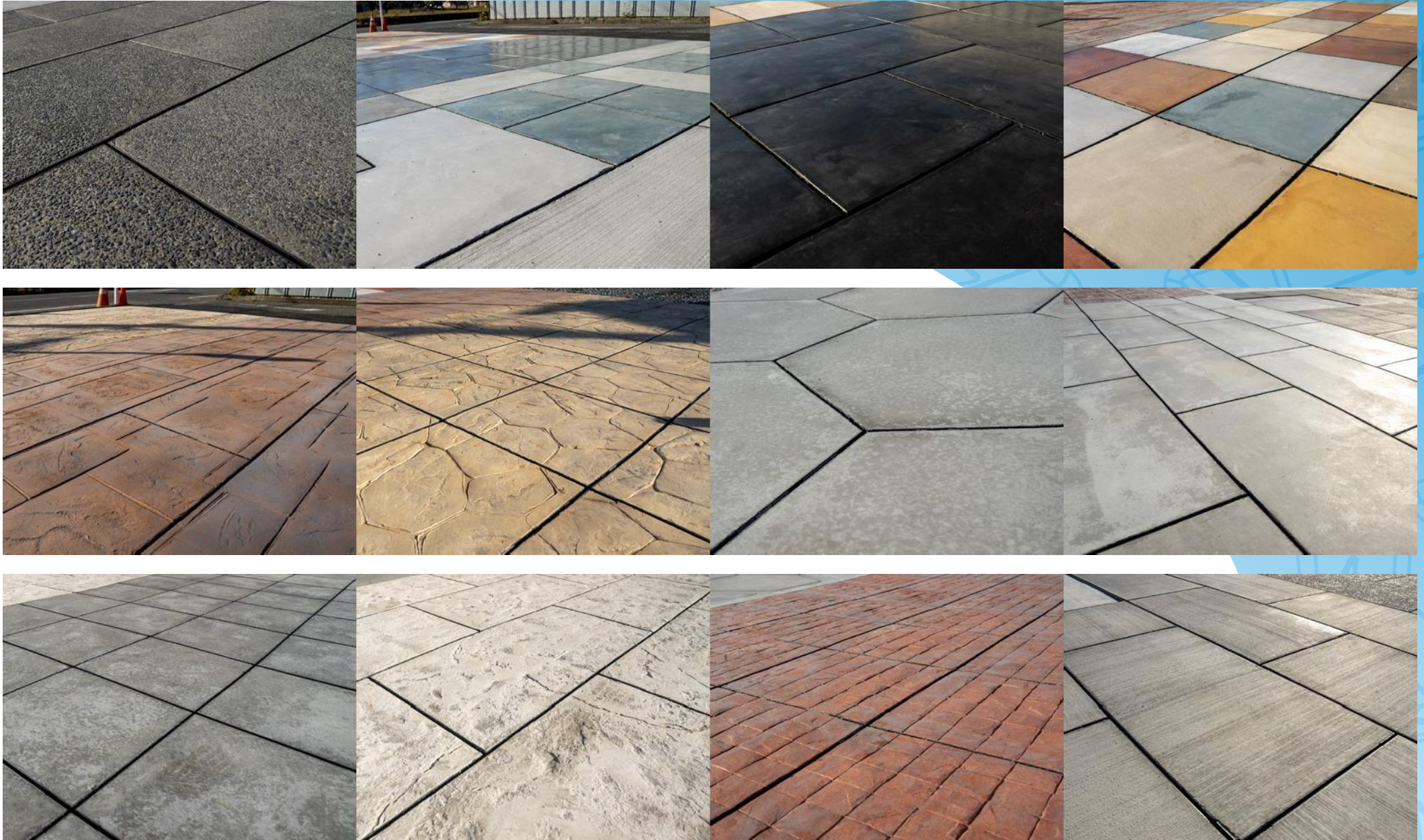
■ 六角形レイアウト



■ 直線レイアウト







Q.目詰まりした時はどうする？

A.目地からメンテナンスが可能です。

メンテナンス方法

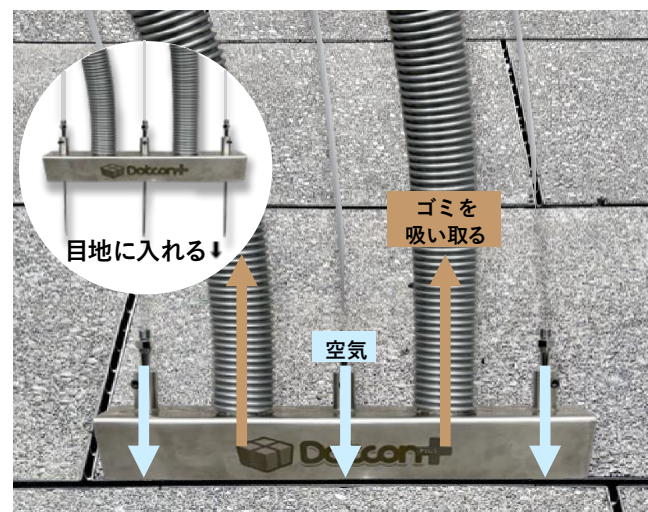
①バキューム（ほぐす）

インパクトに取り付けて目詰まりが起こった 目地部分に差し込み、路盤をほぐすことが可能



②エアレーション

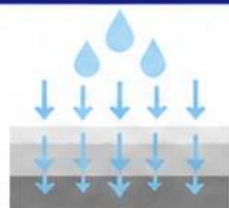
空気の吹き出しと同時にゴミを吸い込むことができる機械を試作中



ドットコンプラスは、圧倒的な透水性能と 長期にわたる性能維持を実証しました

公益社団法人 雨水貯留浸透技術協会にて、透水性能および耐目詰まり性能の試験を実施しました。

透水性能試験結果

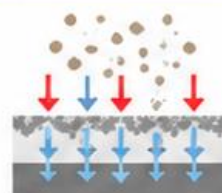


時間雨量
200mm以上の降雨において、
確実に透水することを確認！



1時間に**200mm以上**の雨を通すことができる
高い透水性能を実証しました。

耐目詰まり性能試験結果



30年相当の粉じん・土砂を用いた試験後も、
性能にほとんど変化なし！



長期間の使用でも目詰まりしにくく、
高い透水性能を維持できることを確認しました。

検証結果 まとめ

ドットコンプラスは、**優れた透水性能と耐目詰まり性能**を備えた、
長期間にわたり性能が持続する、**詰まりづらい構造体**であることを実証しました。

- ✓ 大量の雨をしっかりと通す高い透水性能
- ✓ 長期間にわたって性能が持続する耐久性
- ✓ 維持管理の負担を大幅に軽減

→ **安心して長くお使いいただける舗装です！**

試験の様子



高い透水性能と耐久性で、これからの雨水対策・グリーンインフラを支えます！

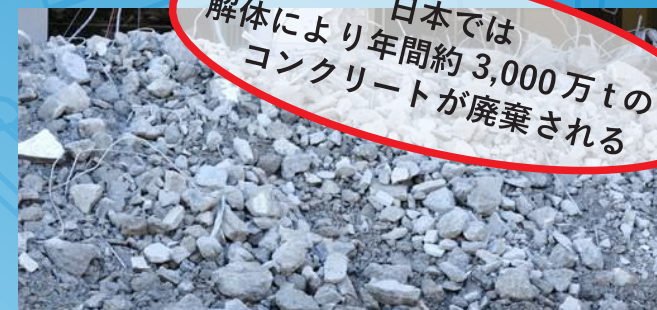
社会問題も解決するコンクリート構造

PUMP MAN

再生コンクリート

「**使いにくい**」を「**使える**」にする

建物を解体すると、たくさんのコンクリートがゴミに



カーボンリサイクルコンクリート

コンクリートのガラを再利用してつくられたもの。
製造時に排出される CO₂も抑えられ環境にやさしい

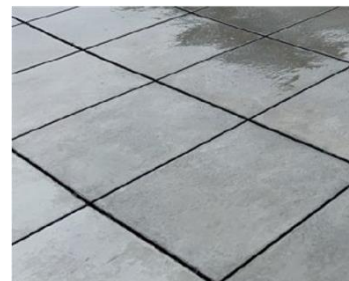
環境に配慮した再生コンクリートだが、
乾燥収縮による“**ひび割れ**”が課題

Dotcon+で解決



従来の構造

300～400cmおきに目地が必要
乾燥収縮が大きく、ひび割れしやすい



Dotcon+
PLUS

約1/6の細かさ(60cm間隔)の目地構成
乾燥収縮を逃し、ひび割れにくい

「乾くと割れる」を、**Dotcon+
PLUS** で解決 

廃プラスチック問題への貢献

PUMP MAN®



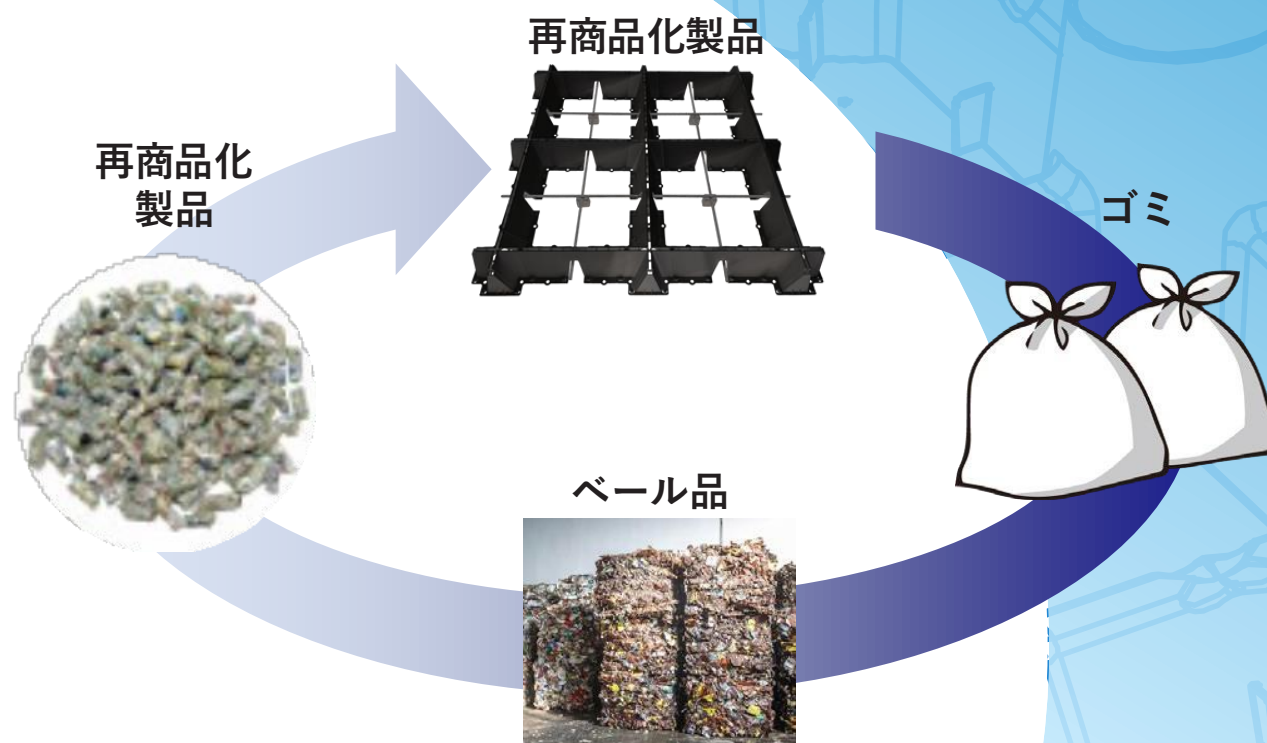
Dotcon+ は現在、再生 PP（ポリプロピレン）を主原料として製造しています。

将来的には、東南アジアをはじめ世界各地で発生する再利用先の少ない**廃プラスチックを回収し、Dotcon+ パネルの材料として再利用**することを目指しています。

Dotcon+ パネルは、コンクリートを“形づくる型枠”として機能し、最終的な舗装性能は、固化したコンクリートそのものの強度によって決まります。

そのため、パネル自体に過度な高強度を求める必要がなく、再生 PP を含むリサイクル材を活用しやすい構造となっています。

この特性により、廃プラスチックの有効活用と、雨水を受け止めて水害を抑制する環境配慮型の舗装構造を両立しています。



地下貯留槽から表面貯留へ

☑ 地下貯留槽における主な課題

① 見えない・触れられない・詰まる・危ない

- ・ 槽内の状態が確認できず“本当に機能してる？”という不安
- ・ 点検・清掃が重い（閉鎖空間作業リスク也大）
- ・ 土砂・落ち葉で目詰まり → 性能が低下しやすい
- ・ 点検・清掃は「閉鎖空間作業」となりやすく、酸欠・硫化水素
- ・ 転落などの二次災害リスクがある

② 設計・許認可リスク

- ・ 地盤条件（地下水位・粘性土）に大きく左右される
- ・ 貯めるだけでなく「放流設計」も必要となり、許認可、協議を含めた設計負荷が高い

③ 施工リスク

- ・ 掘削・残土・埋設物・仮設が増えコスト膨張
- ・ 大荷重の下では設計がシビア。沈下・破損リスクも

④ 安全・クレームリスク

- ・ 閉鎖空間作業（酸欠・硫化水素・転落）の事故リスク
- ・ 蚊・臭気などの「不快感」によるクレームが発生しやすい

⑤ お金のデメリット

- ・ 初期：掘削・残土・仮設で高い
- ・ 維持：点検・清掃・堆積物処分が高い

※初期も高い、維持も高い、見えないから不安

➡ 責任の所在が重く、リスクが集中する

地下貯留槽

- ・ 掘削が必要
- ・ 内部が見えない
- ・ 点検が重い / 危険
- ・ 一点集中で詰まりやすい
- ・ 閉鎖空間作業によるリスクあり
- ・ 設計が複雑（地盤依存）
- ・ 工期が長い

- ・ 初期費用高い
- ・ 維持管理高い
- ・ 不安が残る

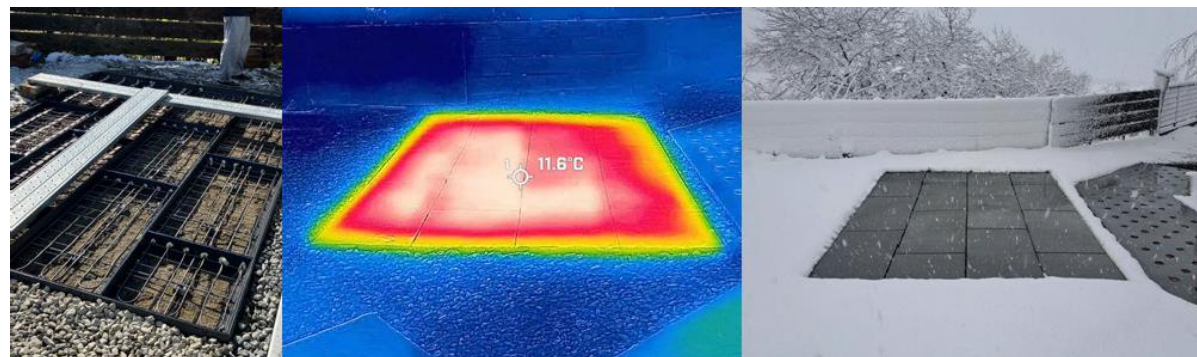


- ・ 掘らない（地表完結）
- ・ 目視でき管理しやすい
- ・ 清掃・管理が用意・安全
- ・ 分散貯留・分散浸透でリスク低減
- ・ 人が入らず安全（作業が地表）
- ・ ほぼ全土地に適用可能
- ・ 工期短縮
- ・ 土工量・仮設減でコスト低減
- ・ 清掃容易で低コスト
- ・ 状態が“見える”ので安心



武田設備株式会社開発のロードヒーティング「雪消しくん」と「Dotcon」がコラボし現在実証実験を進行中

路面下から伝えられた熱により雪を溶かし、発生した融雪水は Dotcon+ の目地部を通じて速やかに浸透。
路面上に水を滞留させることなく、乾いた状態を維持します。



実際に施工した箇所では、雪が積もらないだけでなく、
融雪後も路面に水が滞留せず乾いた状態が保たれていることが確認されています。

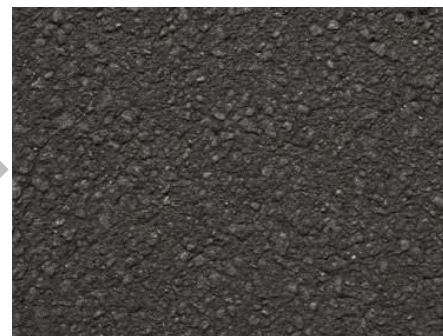
舗装 4 工法コスト比較

100m² 施工時

インターロッキング

コンクリート

アスファルト



4,628,250 円

工期：8.5日

4,071,375 円

工期：9.5日

3,900,875 円

工期：8.5日

3,073,125 円

工期：6日

Dotcon+ コスト比較

PUMP MAN[®]

インターロッキング

工種	単価	数量	単位	小計	消費税	合計	費用区分	備考
インターロッキングブロック 8m厚	9,000	100	M2	900,000	90,000	990,000	材料費	運搬費含む
雨水浸透柵	55,000	4	箇所	220,000	22,000	242,000	材料費	
雨水浸透柵 グレーチング	10,000	2	箇所	20,000	2,000	22,000	材料費	
横断側溝	55,000	4	m	220,000	22,000	242,000	材料費	
単粒度 粉石	10,000	10	m3	100,000	10,000	110,000	材料費	運搬費含む
雨水管 φ200VU 有孔管	12,000	3	本	36,000	3,600	39,600		
路盤 材	3,000	20	m3	60,000	6,000	66,000	材料費	
発生土 処分費	12,000	30	m3	360,000	36,000	396,000	処分費	
普通作業費	35,000	30	人	1,050,000	105,000	1,155,000	労務費	
ダンプトラック	10,000	20	台	200,000	20,000	220,000	労務費	
小機材	10,000	10	日	100,000	10,000	110,000	機械費	
バックボウ	10,000	10	日	100,000	10,000	110,000	機械費	

経費率

3,702,600
1.25
4,628,250

25%

予定工期	8.5日
------	------

コンクリート

工種	単価	数量	単位	小計	消費税	合計	費用区分	備考
雨水浸透柵	55,000	4	箇所	220,000	22,000	242,000	材料費	
雨水浸透柵 グレーチング	10,000	2	箇所	20,000	2,000	22,000	材料費	
横断側溝	55,000	4	m	220,000	22,000	242,000	材料費	
単粒度 粉石	10,000	10	m3	100,000	10,000	110,000	材料費	運搬費含む
雨水管 φ200VU 有孔管	12,000	3	本	36,000	3,600	39,600		
路盤 材	3,000	20	m3	60,000	6,000	66,000	材料費	
発生土 処分費	12,000	30	m3	360,000	36,000	396,000	処分費	
鉄筋メッシュ	800	50	枚	40,000	4,000	44,000		
生コンクリート (H2128)	23,000	10	m3	230,000	23,000	253,000		
普通作業費	35,000	30	人	1,050,000	105,000	1,155,000	労務費	
ダンプトラック	10,000	20	台	200,000	20,000	220,000	労務費	
小機材	10,000	10	日	100,000	10,000	110,000	機械費	
バックボウ	10,000	10	日	100,000	10,000	110,000	機械費	
ポンプ車	75,000	1	日	75,000	7,500	82,500		
舗装切断工	30,000	1	回	30,000	3,000	33,000		
建築機械運搬費	20,000	6	回	120,000	12,000	132,000		

経費率

3,257,100
1.25
4,071,375

25%

予定工期	9.5日
------	------

アスファルト

会社名	単価	数量	単位	小計	消費税	合計	費用区分	備考
雨水浸透柵	55,000	4	箇所	220,000	22,000	242,000	材料費	
雨水浸透柵 グレーチング	10,000	2	箇所	20,000	2,000	22,000	材料費	
横断側溝	55,000	4	m	220,000	22,000	242,000	材料費	
単粒度 粉石	10,000	10	m3	100,000	10,000	110,000	材料費	運搬費含む
雨水管 φ200VU 有孔管	12,000	3	本	36,000	3,600	39,600		
路盤 材	3,000	20	m3	60,000	6,000	66,000	材料費	
発生土 処分費	12,000	30	m3	360,000	36,000	396,000	処分費	
蜜粒度	12,000	13	t	156,000	15,600	171,600		
石油アスファルト 乳材	10,000	1	式	10,000	1,000	11,000		
普通作業費	35,000	30	人	1,050,000	105,000	1,155,000	労務費	
ダンプトラック	10,000	20	台	200,000	20,000	220,000	労務費	
小機材	10,000	10	日	100,000	10,000	110,000	機械費	
バックボウ	10,000	10	日	100,000	10,000	110,000	機械費	
アスファルトフィニッシャー	85,000	1	日	85,000	8,500	93,500		
建設機械運搬費	20,000	6	回	120,000	12,000	132,000		

経費率

3,120,700
1.25
3,900,875

25%

予定工期	8.5日
------	------



会社名	単価	数量	単位	小計	消費税	合計	費用区分	備考
発生土 処分費	12,000	25	m3	300,000	30,000	330,000	処分費	運搬費含む
敷 砂	12,000	5	m3	60,000	6,000	66,000	材料費	運搬費含む
単粒度 砕石	10,000	10	m3	100,000	10,000	110,000	材料費	運搬費含む
ドット コンパネル	5,000	100	m2	500,000	50,000	550,000	材料費	運搬費含む
ポンプ車	75,000	1	日	75,000	7,500	82,500	外注費	
生コンクリート (H212B)	20,700	9	m3	186,300	18,630	204,930	外注費	
鉄筋等 材料	100,000	1	式	100,000	10,000	110,000		
普通作業費	35,000	18	人	630,000	63,000	693,000	労務費	
ダンプトラック	10,000	12	台	120,000	12,000	132,000	労務費	
小機材	10,000	6	日	60,000	6,000	66,000	機械費	
バックボウ	10,000	6	日	60,000	6,000	66,000	機械費	

経費率

2,410,430
1.25
3,013,038

25%

予定工期	6日
------	----

Red Dot Award 2026 – Innovative Design



reddot winner 2026
innovative design



3年連続受賞+金賞



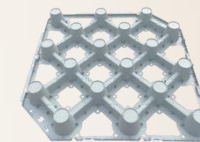
GOOD DESIGN AWARD 2025
BEST 100



GOOD DESIGN AWARD 2025
GOLD AWARD



GOOD DESIGN
AWARD 2024



Dotcon ver2



GOOD DESIGN
AWARD 2023



Dotcon



Dotcon+



GOOD DESIGN AWARD 2025

November, 2025



SIH国際ビジネスコンテスト 日本代表に選出



東京都都市整備局
雨水しみこみアンバサダー
認定

雨水しみこみプロジェクト
認定アンバサダー No.000006



SAGA2024 国スポ・全障スポ^(※) 修繕工事にて **Dotcon** 採用



現場名：基山総合公園南側バックネット裏広場修繕工事

住 所：佐賀県三養基郡基山町宮浦 666

発注者：基山町役場

施 工：佐賀県パートナー施工店 有限会社林重機 様

国土交通省関東地方整備局 展示施工



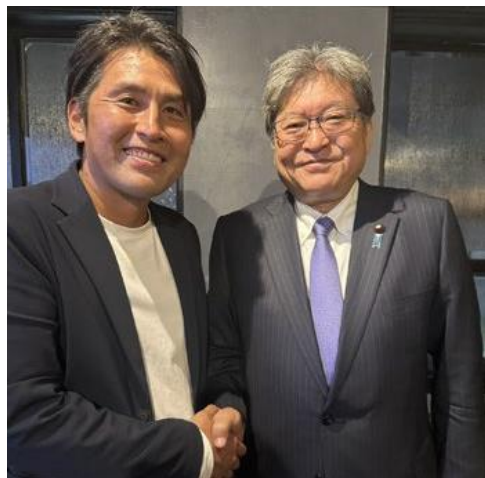
※旧国体

中野大臣へプレゼン

国土交通省大臣室にて中野大臣へ Dotcon をプレゼン



萩生田光一様プレゼン済み



萩生田光一様

公設第一秘書プレゼン済み
牛久保様、鈴木様

鹿児島県垂水市で採用完了

開発者である小澤自ら垂水市、尾脇市長にプレゼンさせていただき、Dotconの施工が決定しました。

鹿児島の地形は、火山灰が多く堆積しているため、一般的な舗装工事では排水機能が十分に確保できない課題があります。

しかし、火山灰は水をよく吸収する特性を持つため、透水性に優れた Dotconとの相性が非常に良い可能性が高く、画期的な施工方法として期待されています。



Dotcon パートナー施工店 全国 **300** 社超

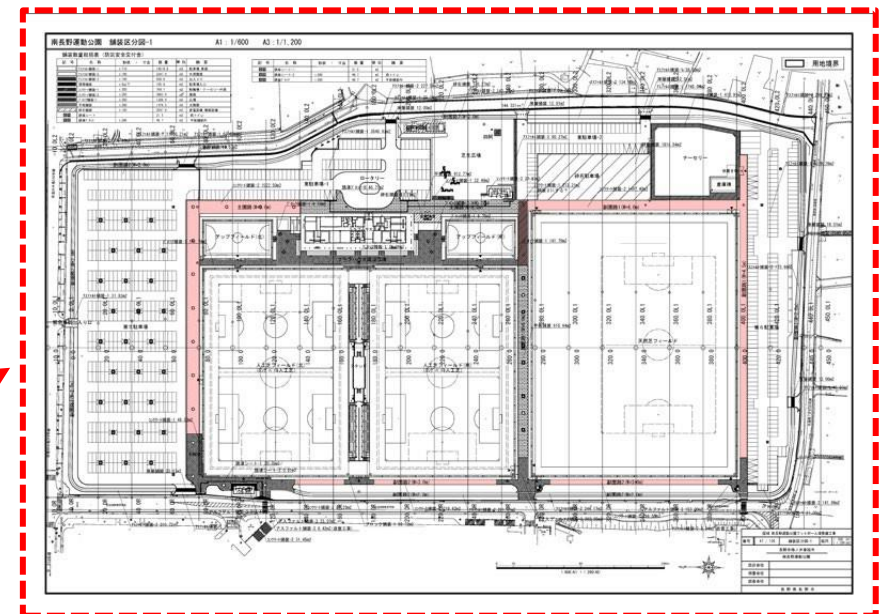


長野県長野市公共工事

南長野運動公園フットボール場整備工事

Dotcon+**3600**m² 採用決定

ピンクの箇所を施工



公共工事

岡山県津山市

Dotcon 試験施工済み

神奈川県横浜市

泉土木管内道路工事整備工事
Dotcon+ 20 m²施工打合せ中

青森県

学校統合計画 Dotcon/Dotcon+ 打合せ中

和泉菊水分署建設工事

Dotcon+ 900 m² 採用を前提とした設計中

松前町役場

Dotcon+ 500 m² 設計中

静岡県

農道・市道で試験施工計画

民間工事

関西電力案件

送電線の基礎部分
採用を前提とした設計中

東京電力案件

試験施工済み。並びに送電線の
基礎部分採用を前提とした設計中



茨城県 工場案件

Dotcon+ 2,428 m²

茅ヶ崎案件

Dotcon+ 864 m²

箱根案件

Dotcon+ 1,540 m²

相模案件

Dotcon+ 1,320 m²

サッカースタジアム 案件

Dotcon+ 330 m²

NETIS 登録申請中



KK 線にて暑熱対策効果測定を目的とした供試体視察を実施中
Dotcon/Dotcon+ の供試体を設置し、日中（10～15 時を想定）に
路面温度を測定し、暑熱対策としての効果を検証する。

Dotcon 顧問である日本大学 子田教授および学生の皆様のご協力のもと
日本大学にて「Dotcon+」の圧縮試験を実施



圧縮試験供試体の制作



100kN 載荷試験状況

試験実施メンバー

検証結果

Dotcon+ 平板供試体の載荷試験により、
大型車荷重に相当する 最大 **100 kN** まで安定した荷重-変位挙動を確認。
これにより、大型車対応用途において安全性の確保とコスト低減を
両立可能であることが示されました。

試験の様子はYoutubeでもご覧いただけます▶



Dotcon +に70tラフタークレーンを載荷し、耐荷性能の検証を実施。

載荷後のDotcon+表面を確認した結果、ひび割れ等の異常は認められなかった。
目地を600mm間隔で設けている構造により、ひび割れが生じにくい設計となっている。

ドットコンプラスの上に
70tクレーン乗せてみた!



今後の展開

今後はベターリビングにて、表面温度測定、散水試験、打ち水効果検証などを実施予定。
これらの結果をもとに、雨水協会の技術評価認定書の取得を目指します。

検証の様子はYoutubeでもご覧いただけます▶



インドネシア共和国



国内大手商社の協力のもと、
インドネシア工業団地にて Dotcon 施工計画進行中
インドネシア日系企業16 社プレゼン済み

インドネシア国土交通省でインドネシア運輸省ギギ・レトノワティ様 [第一級航海ナビゲーション地区 (Dumai) 所長海事安全技術センター (BTKP) 元所長] 等にプレゼンを行い、施工が決定

コンゴ民主共和国



大統領補佐官 視察
アフリカ 4 兆円 ODA プロジェクト

TSHISEKEDI Etienne 様 コンゴ民主共和国大統領補佐官 (大統領の兄)
ンパタンサンバ キムウワンガ ジャン クロード 様 トーゴ共和国大使館
Simon BEDELO 様 慶應義塾大学 教授
福島 真二 様 国連環境計画 日本協会

タイ



RMUTT（国立大学）建築学部敷地内にて、 今後の拡販を視野に入れたショースペース設置予定



赤枠部分に設置を検討中面積は10～15㎡程あります。

☑ ショースペースの設置案

施工面積：約 15 m² を想定 Dotcon と Dotcon+ を
両方設置 Dotcon+ をメインに拡販方針

2種類設置することで視認性向上・比較価値の訴
求・ユーザー選択肢の拡大 に寄与面積については
縮小・拡大とも調整可能

☑ 他製品との相乗効果

当該敷地には既に 雨水貯留槽が地下に敷設済み

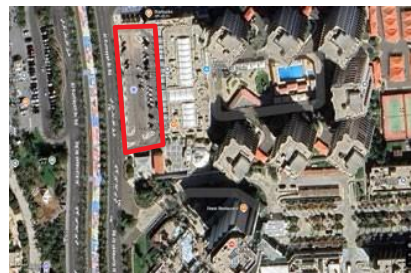
今回は地下貯留槽とはスペースを分け、Dotcon 単
体かつ隣接する形で展示 する計画雨水貯留槽と排水
フレームを並置することで

Rain Water Management Method として高い訴
求が期待されている

サウジアラビア



シェラトンホテル施工決定



シェラトンホテルに隣接する商業施設でも採用検討中



サウジアラビア
水道機工株式会社
中東全域で
Dotcon
独占販売決定



サウジアラビアより
エンジニア来社
Dotcon+ 視察

ハワイ

Pūlama Lānaʻiプロジェクト

米国ハワイ州ラナイ島

Oracle 社創業者 ラリー・エリソン氏

が主導する持続可能な街づくりプロジェクト。Dotcon シリーズの透水性技術が活用候補として評価され、特に「DotconPLUS」は透水性能・景観性・施工効率の高さが注目されています。



WBSにてDotcon 紹介

ワールドビジネスサテライト内のコーナートレンドたまごにてDotconが紹介されました。



放送日:10月16日(木)

PRESIDENT Online 掲載



台風、豪雨をゴクリ…日本の技術が生んだ水を通すコンクリート「ドットコン」が狙う世界200兆円市場

コンクリート一筋・中卒たたき上げ社長が気づいた常識はずれの水害解決策

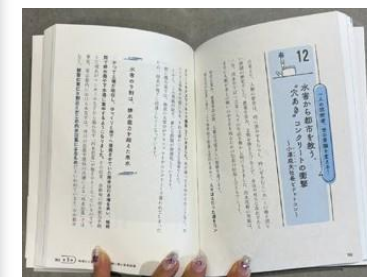
局地的大雨のニュースが引きも切らない。YouTubeチャンネル・テレ東BIZ「橋本幸治の理系通信」が人気を博している橋本幸治氏は「かつて土が持っていた『雨水を受け入れる力』を現代の舗装に取り戻すすごい技術が日本にはある」という――。

新聞多数掲載



「未来を見通すビジネス教養 日本すごい先端科学技術」掲載

著書：テレ東報道局ディレクター 橋本幸治



P152 より Dotcon 記載

2025年10月24日公開



著者 橋本幸治

1989 年兵庫県生まれ
2013 年3月東京大学工学部卒業
2015 年3月東京大学大学院工学系研究科修了
同4月テレビ東京入社。政治担当記者として
首相官邸や与党、防衛省などを取材したあと、
20 年春からテレ東BIZ 編集部。「橋本幸治の
理系通信」シリーズは YouTube にも一部配
信され、わかりやすい解説、熱っぽく語る様
子から「超わかりやすい理系オタク」と呼ば
れることも。

Youtube 出演

PUMP MAN

令和の虎

154万
再生

虎として出演。また、虎版令和の虎にて志願者としてDotconプレゼンをし、審査員（虎）全員から参画をいただき All 達成



News Picks

462万
再生

ショートバージョンで出演



土木のおしごと

147万
再生

海外からの問い合わせが増えたきっかけ



【Dotcon】世界の200兆円道路市場に革新をもたらす！水害リスクを減らす日本発の『...』
147万 回視聴・1 年前

リアルバリュー

231万
再生

Dotcon/Dotcon+ についてプレゼン 見事リアルバリュークラブへ認定



バカにしてんじゃねえぞ、俺は1兆円を作るんだ。プチギレ元虎中卒社長はまさかの結末に【REAL VALUE#48】



ヒロミが解決！八王子リホーム大晦日SP

Dotcon PLUS 施工



日本テレビ、大みそかは「ヒロミが解決！八王子リホーム」SP... 5年連続「ガキ使」放送なし

11/13(木) 5:00 配信 145 回視聴

日本テレビは13日、今年の大みそかに「ヒロミが解決！八王子リホーム 大晦日SP」（後6時）を放送すると発表した。年末の名物番組だった「ダウンタウンのガキの使いやあらへんで！絶対に笑ってはいけない」シリーズは、5年連続で放送見送りとなる。

5時間半にわたり放送される「八王子リホーム」は、タレント・ヒロミがDIYのテクニックで芸能人の自宅リホームをはじめ、様々な悩みを解決する人気シリーズ。今回の特番は、「未来の模範」を夢見る10人の子供たちが在籍する相談クラブで、前代未聞の超大規模リホームに挑戦する。

「台風による強風でテント屋根が壊れてしまい土壁で練習できない」「築100年以上の古民家子どもたちが快適に過ごせるようリフォームしたい」「練習に励む子どもたちのためにシャワーを作ってあげたい」など多くのお悩みに応えていく。ヒロミは、屋根の撤去や土壁と解体し、重機で地面を掘りパイプを埋めて排水のシステムを再構築するなどの難題に、「家事助っ人」を迎えて全力投球する。



このコンクリート版は、地面へ水を排出する機能を備えています。

穴あき、スリット、目地のあるデザインにより、特に大雨時に発生しやすい「水たまり」や「雨水が激しく川のように流れる」といった都市特有の状況を抑制することができます。

また、このデザインは意匠性にも優れ、建物まわり（外構）の景観を美しく演出します。

さらに、特殊なコンクリートスペックを必要としない点も大きな特長です。

施工は比較的容易で、型枠パネルの設置により対応できるため、熟練した技能を要しません。

したがって、駐車場・物流センター・工場敷地など、比較的荷重が大きい用途においても、「透水性」「貯留性」「デザイン性」を兼ね備えた舗装として適用可能です。タイルや敷物のような質感を活かしつつ、雨水浸透やヒートアイランド対策などの環境配慮を実現でき、排水勾配を設ける必要がないという利点もあります。

子田 康弘 教授

日大本学 土木工学科
コンクリート工学研究室 工学部 教授
広報委員会副委員長 博士（工学）



子田 康弘 教授

日大本学 土木工学科
コンクリート工学研究室 工学部 教授
広報委員会副委員長 博士（工学）

強度は大丈夫？

土間コンクリートの設計に照らし合わせると、土間（駐車場）は非構造部材であり、大きな荷重を直接負担するものではないという前提があります。

車両の接地面積に対してコンクリート部分が大半を占めるため、通常のコンクリート舗装の強度で十分に耐力を確保できます。

ドットコンには厚さ15 cmのフレームも用意されており、重量車両が乗り入れる箇所では、厚さを増し、通常より高い強度のコンクリートを採用すれば対応可能です。

道路で使えないでしょ？

ドットコンは、強度の面からみれば自動車用道路舗装としての利用も十分に可能と考えられます。

しかし、路面に繰り返し荷重が作用する舗装構造としての適用については、今後の検討が必要です。道路舗装の設計では、走行快適性（乗りごち）を定量的に評価するための指標（IRI など）が定められており、これらの観点からも性能評価データの蓄積が求められます。

今後の技術開発により、車両走行範囲では透水孔を避ける新たなフレーム構造や、耐久性・維持性を向上させる設計が進めば、道路舗装としての利活用の可能性はさらに高まると期待されます。

推薦文

ドットコン+は、従来のドットコンに比べて開口部が極めて小さくなり、歩行者の走行性が大きく向上した製品です。

一方で、技術の核となる透水性についても、十字状の目地から速やかにコンクリート路面下の礫層へと水が浸透・拡散する構造となっており、コンクリート面積と同等の吸水面積が確保されています。

砂礫をまいた駐車場では、繰り返し荷重によってわだちぼれが発生し、くぼみが生じやすい傾向がありますが、この工法ではコンクリートが車両荷重を分散するとともに、施工領域の端部から水が外部へ流出しない構造となっているため、土砂の流出が抑えられ、くぼみの発生も低減されています。

近年、局所的な豪雨による洪水被害やヒートアイランド現象に伴う都市域での気温上昇が深刻化しています。土中に水分を保水させることは、これらの問題を緩和する有効な手法であり、ドットコン+は利便性と環境性能を両立させる技術として今後の展開が期待されます。



教授A



PUMPMAN 株式会社
代表取締役社長

小澤 辰矢（おざわ たつや）

1982 年生、静岡県富士宮市出身
2001 年にコンクリート圧送工に就き
2007 年独立

2011 年に小澤総業（株）を設立
OZAWA GROUP 会長として関東最大級の保有数に
成長。年商 16 億円

透水貯留浸透舗装「ドットコン／ドットコンプラ
ス」を開発し、サウジアラビア・インドネシア・中
東等へ展開 YouTube 登録 20 万人超

2024 年『テッペン獲ろうか。』（KADOKAWA）
著者 出演：AbemaPrime、ニュースピックス、令
和の虎（元）



PUMPMAN 株式会社
取締役

松島 栄一（まつしま えいち）

モンスターラボ常務執行役員
SOLIZE PARTNERS 取締役
元 PwC ジャパン専務執行役

製造業・自動車業界を中心に 25 年以上のコンサル
ティング実績を持つ、デジタルトランスフォーメー
ション（DX）と業務改革の専門家。

PwC コンサルティングではパートナー・専務執行
役を務め、エンタープライズ変革や業種横断型プロ
ジェクトを主導。

2025 年よりモンスターラボおよび
SOLIZEPARTNERS、PUMPMAN に参画



顧問

子田 康弘（こだ やすひろ）

日本大学 土木工学科
コンクリート工学研究室 工学部教授
広報委員会副委員長 博士（工学）

■主な研究内容

構造物の補修・補強技術
材料劣化と疲労耐久性の評価
寒冷地におけるコンクリート劣化機構の解明

■経歴

日本大学卒業（1996 年）
日本大学大学院 工学研究科
土木工学専攻 博士前期課程修了（1998 年）

■その他

小中高校を対象にした出前講義を実施。
コンクリートの健全性と持続的社会的インフラの構築をテーマに
研究を続けている。

流す治水から、浸透させる治水へ

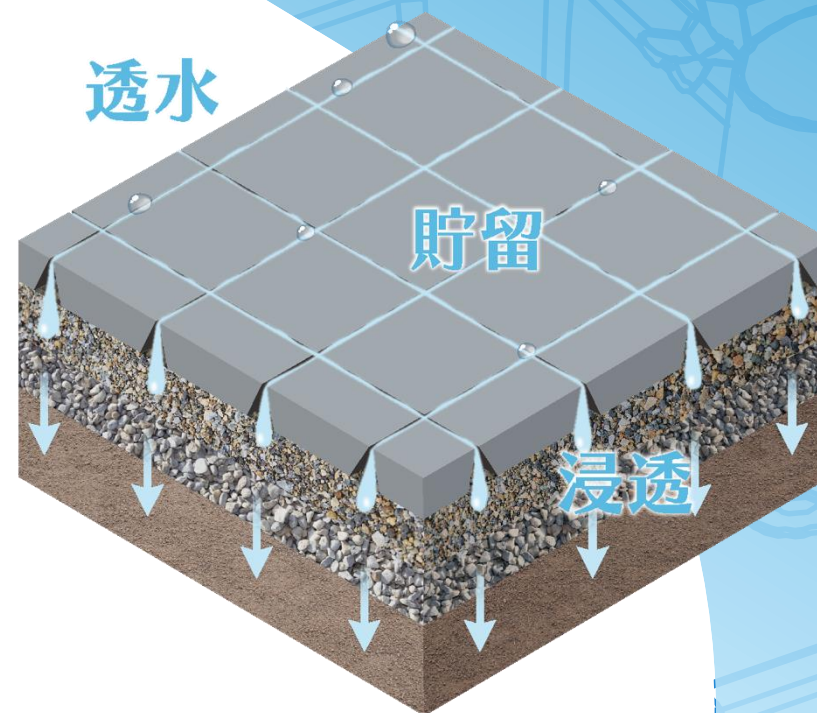
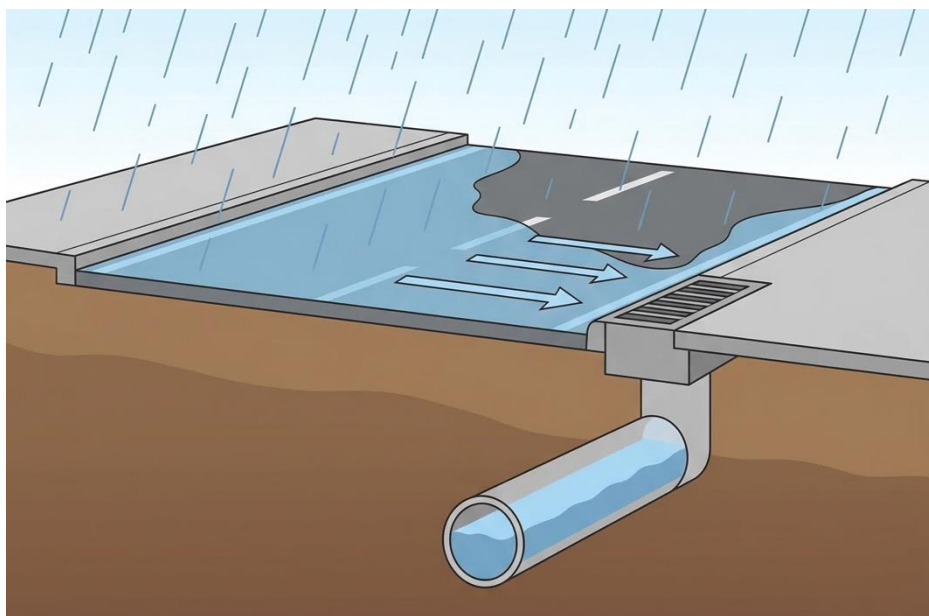
【従来の治水】

- 集める（側溝・排水管）
- 流す（河川・下水）
- 溜める（調整池・ダム）

【これからの治水】

- まず大地に返す
（自然の機能を使う）
- 溢れた分だけ人間が補助する

水をどう処理するか



自然を壊して、人工で処理 ▶ 自然を活かして、人工で補助

発注者は未来の子どもたち

私は「Dotcon」で水害を減らし、未来を守りたい。

すべては無理でも、防げる被害はある。

その一步が、社会を変えると信じています。

でも、一人では限界がある。だから仲間を集め、行動し、広げていきたい
社会を変えるには、人の心が変わること。

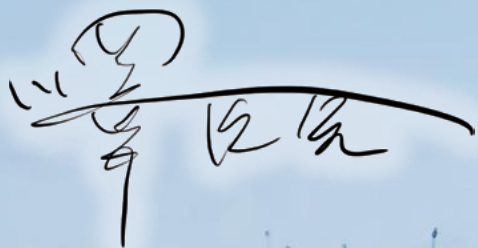
だから私は、経営者のお手本になります。言葉ではなく、行動で示します。

「ドットコン」で利益を生み、そのお金で日本一の児童養護施設をつくります。

子どもたちの夢が叶う場所を。

お金を稼ぐことは悪じゃない。大事なのは「どう使うか」。

私は、ドットコンで社会に希望をつなぎます



 Dotcon
 Dotcon+
開発者 小澤辰矢



